

ほっかいどう



未来への 元気遺産!

北海道を元気にする、人・もの・アイデアを紹介します。 **いきいき高齢者編**

平均年齢71歳! 認知症予防や

詐欺被害防止など身近な問題を芝居に

くしろ高齢者劇団 / 釧路市

老後の生きがいを求めて、2011年に結成した「くしろ高齢者劇団」。団員数は8人、平均年齢は71歳。認知症予防や詐欺被害防止など、高齢者が日頃抱えている身近な問題をテーマに、観客と一緒に泣いて笑って楽しめる芝居づくりを心掛けています。

脚本や演出も自分たちで手掛け、毎年新しい作品に取り組んでいます。セリフを覚えるのも大変ですが、公演が近づくと週2、3回の練習を重ね、毎年11月には道立釧路芸術館で定期公演、また年5、6回は地域の高齢者施設や病院などで出前公演も行っています。観客は劇団員と同世代が多く、「セリフにリアリティーがある」「若さと元気な姿に刺激を受けた」と好評です。



2017年11月 道立釧路芸術館での定期公演

定年退職後、この劇団に出合っていなければ、毎日テレビを見て過ごすか、病院通いをしていたと思います。仲間と一緒に作り上げていく芝居は、僕にとって生きがい。他のボランティア活動では得られない喜びを感じます。

毎年、オリジナル作品の脚本を書いています。社会福祉協議会や老人クラブから聞いた悩みや課題、新聞記事をヒントにテーマを決め、劇団員の意見も盛り込みながら仕上げていきます。ことしのテーマは嫁姑問題、お楽しみに。

▶お問い合わせ くしろ高齢者劇団事務局 ☎(0154)24-7663

芝居づくりが 定年後の生きがいに。



くしろ高齢者劇団事務局 佐藤 伸邦さん

出演できるのは65歳以上!

映画づくりが高齢者を元気にする

田んぼdeミュージカル委員会 / むかわ町

2001年、当時の穂別町(現・むかわ町)で開かれた崔洋一映画監督の講演をきっかけに、高齢者たちの映画づくりが始まりました。当時、町民の約4分の1が65歳以上。それを逆に年齢制限し、平均年齢75歳が奮闘する映画「田んぼdeミュージカル」を製作したところ、全国各地で話題を呼び、フランスやニューヨークのメディアに取り上げられ、韓国の映画祭にも招かれました。

その後も、故郷の歴史や鶴川町(当時)との合併をテーマに、老いをパワーに作品をつくり続け、「地域づくり総務大臣表彰」など数々の賞を受賞。林業を取り上げた5作目「ここはわたらの天国だ」の上映会に力を入れながら、化石にとりつかれた男をテーマとした6作目の製作準備も進めています。



「ここはわたらの天国だ」のワンシーン

「撮影中は葬式を出すな」が合言葉ですから、晩酌を控えたり、血圧に気を付けるなど、少しずつお年寄りの生きる意欲が高まっていったのを感じます。

保健師の仕事しながら、映画スタッフとして「この人、あの役に向いているかも」という目線で接することもありました。1作目から映画を見返すと、昔あった家やコスモス畑が、いまはなくなっていることに気づきます。故郷の風景や人々をまちの記録として残すためにも、映画づくりを続け、たくさんの方に見てもらいたいですね。

▶お問い合わせ 田んぼdeミュージカル委員会 ☎090-9080-6063(中澤)

故郷の風景や人々を まちの記録として残したい。



田んぼdeミュージカル委員会 中澤 十四三さん

北海道 150年

なるほど! 知るほど! 物語

北海道ならではの食の由来や知られざる歴史を紹介します。

明治・大正時代、「札幌黄」は世界へ輸出されていた / 札幌市

北海道のタマネギは、1871(明治4)年、開拓使の札幌官園で試験栽培されたのが最初です。その6年後、米国から札幌農学校に着任したブルックス博士が、札幌黄の原種「イエロー・グローブ・ダンパース」を持ち込み、札幌村(現・東区)の農家に栽培指導を行いました。やがて、栽培地は篠路村や白石村(現・北区、白石区)、道内各地へと広がり、明治後期から大正にかけて、ロシアやフィリピンなど海外へ年間約2千トンも輸出されていました。



肉厚で熱を加えると甘みとろみが出る札幌黄



直播の様子 / 札幌村史(昭和25年)より

1978(昭和53)年ごろから収穫が安定している他品種が出回るようになり生産量は激減しましたが、「食の世界遺産」といわれるスローフード協会の「味の箱舟」※に認定され、再び脚光を浴びています。札幌村郷土記念館では、札幌黄の歴史を学ぶことができます。

※絶滅の危機に瀕しながら、地域に根差した価値ある食材を守ることが目的。

▶札幌村郷土記念館 札幌市東区北13条東16丁目2-6 ☎(011)782-2294

当たる! おいしい北海道

函館米穀(株)の平成30年産新米「北海道産ふっくりんこ」(5kg)を **抽選で30名様** プレゼント!



次のアンケートに答えて道産品を当てよう!
10月号の中で興味を持ったのは、どの記事ですか。
①特集(科学技術で描く、未来の北海道) ②こんにちは! 赤れんが ③おすすめ! 地域から
④みんなの防災ガイド ⑤未来への元気遺産!
⑥なるほど! 知るほど! 物語 ●当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

●応募方法: アンケートの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキ、パソコンまたは携帯サイトでご応募ください。
●応募期限: 10月26日(金)必着 応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。
●応募先: **ハガキ** 〒060-8588(住所不要) 北海道広報広聴課「当たる! おいしい北海道」係 **携帯サイト**
パソコン 広報紙ほっかいどう **検索**
●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバックナンバーなどの閲覧も上記からアクセスできます。 ※8月号のプレゼントには、3,361件の応募をいただきました。



北海道の人口	総人口	男	女
平成30年7月末	5,314,954人	2,510,222人	2,804,732人
前年同月比	34,604減	16,488減	18,116減

※人口は毎月公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。

次号のお知らせ **12月号は11月21日(水)に配布開始の予定です。**



みんなの文字

この広報紙は環境に優しい植物性インキを使用しています。本文には見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

広告

※この広告は、広告主の責任において北海道が掲載しているものです。